

都島だより

発行責任者
都島クラブ代表(CI40)
菅家 亘通



一般社団法人浪速工業会
都島クラブ会報

2022 年(令和 4 年)8 月 第 63 号

事務局 馬江 治喜
〒234-0056
横浜市長南区野庭町 696-6
TEL045-841-8885
E-mail har1942umae@ris.ocn.ne.jp

NEWS 63 号

題字デザイン A28(故)岡田宏三氏

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ・現在会員数 ◆ 合計 426 名

◆M・機械 81 名、ME・機械電気 25 名◆A・建築 77 名◆E・電気・電子工学 143 名◆C・土木・都市工学 33 名◆CI・工業化学・理数 47 名◆L・普通 12 名◆工専 8 名

浪速工業会・都島クラブ 代表と挨拶



CI40 菅家 亘通

(二社)浪速工業会・都島クラブの会員の皆様には、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。令和四年四月から母校は大阪府立都島工業高等学校となりました。特に柘原前校長先生は通常2年の任期のところ、3年の任期をされて、この少子化の難しい状況を乗り切つて他校との合併もなく「都島工業」の名称が残されたことは本当に喜ばしい事です。その他、尽力頂いた大阪の皆様には心よりお礼申し上げます。さて、コロナ禍の国民生活は乱れたまま一向に収まる気配もなく例年5月に開催しておりました年次総会は今年度も見送ることになりました。来年こそは思いで密を避け縮小した規模での開催を企画して、何とか前進をと願っております。次に今回は都島クラブ幹事会の現状をお知らせします。活動の停滞した3年の間に、関東在住の各科代表幹事も年を重ね今のままでは継続が難しい状況になってきております。かつて都工を卒業されて関

東に進出された先輩方は浪速工業会の関東支部を立ち上げられました。その後の「関東浪速工業会」の活動は「都島クラブ」と改称した後も多くの幹事の方々が会の運営に努められました。しかし多くの幹事が今年で八十歳の舞台を迎えられました。幹事の八十歳定年と言う提言もありましたが一度に半数の方が抜けるのは避けるべくひとまず保留としております。

昨今は都工卒業後、大学への進学率も高くなり又就職後においても関東への転勤と言う流れが無い中ではありますが縁あって関東にお住まいの若手会員が居られました。是非お手伝い頂きたく紙面をお借りしてお願いする次第です。ワクチン何回目、マスク……、手指アルコール消毒もう飽きました。こういう言葉を口にしない方がいい日が1日も早く来ることを願っております。ご自愛下さい。

退任の挨拶



都工

大阪市立都島工業高等学校
第26代校長 柘原 康友

酷暑の候、浪速工業会会員の皆様には

ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校の教育活動に多大なるご支援をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。私は、この度令和四年三月末日をもって定年退職いたしました。校長在任中に賜りました、浪速工業会の皆様をはじめ関係の皆様温かいご協力に、心より感謝申し上げます。次第でございます。平成三十一年四月に、歴史と伝統を誇る母校の校長を拝命し、この間、その重責に都工の偉大さをひとしと感じる日々を過ごしてまいりました。その任を解かれた今は少しほっとしているところです。あらためまして、三年間のご厚誼に厚くお礼申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。今後は卒業生の一人として母校の発展を陰ながら見守ってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。さて、以前からお伝えしておりますとおり、都工をはじめとする大阪市立の高等学校二十校は、府への移管により令和四年四月から大阪府立の高等学校となりました。これに伴い、母校の校名は「大阪府立都島工業高等学校」となり、正門には新たな校名プレートが設置されています。府内の高等学校については広域において効果的・効率的に運営すべきとの観点から、平成三十一年七月以降、

府市の教育委員会で市立の高校を大阪府立高校に一元化するための協議が重ねられ、「大阪府立の高等学校等移管計画」が策定されました。その後、令和二年十二月の大阪府会、大阪府議会において条例改正案が可決され、市立の高等学校全二十校を令和四年四月に大阪府に移管されました。府内の高等学校については一九〇〇年(明治三十三年)「大阪府教育十年計画」の策定以降、大阪府は旧制中学校を、大阪府は実業学校をという、府市による旧制中等学校設置経営の分担が長く続きました。大阪府は市民の実学を重んじる精神に支えられながら現在もその流れを受け継いでおり、市立の高等学校に設置する商業・工業など実業系学科の割合は五十%に達しています。一方、市の旧制中学校や高等女学校を前身とする普通科系高校は、一九八〇年(昭和五十五年)の体育科設置以降、英語科、理数科、総合学科等の専門学科を新たに設置し、二〇〇八年(平成二十年)には府内公立で初めてとなる中高一貫教育校「咲くやこの花中学校高等学校」を、また二〇一九年(平成三十一年)には国家戦略特区制度を活用した全国初となる公設民営の中高一貫教育校「水都国際中学校高等学校」を設置いたしました。さらに、二〇二

二年(令和四年)には、高い志を持ち次世代の大阪を創生する人材の育成をめざす「桜和高等学校」が開校いたしました。このように、大阪府は実業教育を進めると同時に普通科系高校の特色化をはかることで次世代の大阪を担う有為な人材の育成に努めてまいりました。府への移管に伴い、市立の高等学校は令和四年四月から大阪府立の高等学校として新たなスタートを切りました。百有余年にわたる市立の歴史の中で一つの大きな節目を迎えました。が、これまで大阪府が培ってきた教育実践を今後もしっかりと受け継ぎ、各校においてより魅力ある学校づくりを進めてくれることと期待しております。都工は、これまでこれからも都島の地に建ち続け、府内の工業教育をリードしていく立場であることに変わりはありません。今後とも都工の教育活動に温かいご理解、ご協力を賜りますよう、よろしく願っています。

浪速工業会・都島クラブの活動報告

都島クラブ事務局

Edo6 馬江 治喜

従来五月頃総会を年一回は開催していましたが、新型コロナの影響により、令和二年五月二十三日〜令和四年まで三年間の開

催が出来ませんでした。都島工業高等学校の存続について、令和四年四月に大阪府立のすべての高等学校が大阪府に移管し、本校も大阪府立都島工業高等学校として新たなスタートを切るようになりました。この少子化で、厳しい経済状況の中でひとつとしたら、他の学校と合併と言う事も考えましたが、柘原校長はじめ多くの皆様のお力のお陰で合併もなかった市立から府立と変更になったと言う事で安心いたしました。これも母校御出身(M五十五年卒)の柘原校長先生はじめ皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

例年、年五回程度六甲クラブにて開催していた幹事会も、ZOOMで開催したり、今回久しぶりに五月十一日に対面方式で六甲クラブにて開催しました。第八回MMS講師としてM四十一卒米田勝美氏にお願いしていますが、次回総会での講演としてお願いするか否かを次回幹事会にて検討いたしました。思います。

Mニュース六十三号の発行は八月頃を予定しております。次回総会の日時、場所、開催方法についても次回幹事会にて討議いたし、Mニュース六十四号にて出来れば会員の皆様へご報告させていただきます。思います。

その他行事報告及び、行事予定、会計報告は総会で了承された報告ではありませんが、ご参考として頂きたいと思っております。

都島クラブの状況としては、会員の高齢化と、昨今の時代背景で、卒業生が関東で就職することが少なくなり、ここ暫くは大阪より関東へと移動する卒業生も少なく、都島クラブの会員数の減少も致し方ない事と思います。私事ですが、二〇〇一年五月発行のMニュース二十三号よりE十三卒・故笹本克己氏と編集作業を手伝い、その後事務局を引き継ぐようになり、二十年余となりました。私は今年で傘寿となり体力的にも気力的にも衰えが激しい状況で会員の皆様にご迷惑を掛けたい様心がけています。しかし都島クラブの活性化を進めるためには、若返りが必須で、若い方々にバトンタッチをしたいと考えております。

令和三年度

浪速工業会・都島クラブの総会議案

一般社団法人 浪速工業会・都島クラブ			
★ 令和3年度(2021年度) 行動実施報告			
令和3年5月11日	Mニュース62号発行		
令和3年5月11日	柘原校長先生を交えて、ZOOMにて説明会を開催。		
令和3年5月17日	幹事会をZOOMにて開催。		
幹事会1回開催(1月)			
★ 令和4年度(2022年度) 行動計画			
令和4年5月4日	桂 米左氏・お江戸日本橋亭での公演。		
令和4年5月11日	幹事会開催(六甲クラブにて)		
令和4年5月31日	幹事会開催予定(六甲クラブにて)		
令和4年10月2日	海徳会 桂 米左氏 20国東京公演、お江戸日本橋亭にて開催(令和2年、3年新型コロナウイルスの為中止)		
幹事会4回開催(5月、8月、10月、1月)			
★ 令和3年度(2021年度) 会計報告			
(令和3年4月1日〜令和4年3月31日) 事務局 E38年 馬江 治喜 謝佳 利			
項 目	収 入	支 出	備 考
前年度から繰越	260,730		
本部より 還入金	57,600	7,540	
Mニュース62号印刷代		28,785	
Mニュース62号宅配送料		4,992	
アンケート・費使払い		5,050	
事務局一般		10,000	
六甲クラブ年会費			
計	318,330	56,343	
本年度へ繰越		261,987	
合 計	318,330	318,330	

上記の通り報告ありません。令和4年3月31日 会計監査役 M42年 前田 龍行

麗しの島・台湾 第3回



A7 田中 瑛也



●高雄 道教の香り漂う街

台湾縦貫高速道路を南へ、台湾最大の工業都市高雄市は、第二次大戦末期に米軍の空爆で街は壊滅したが、戦後に都市は、壊滅したが故に、整然とした都市計画に基づき見事に都市再生を果たし、首都台北よりも近代都市の風格を備える都市となった。首都台北と高雄、高雄市では左営駅が主要駅であるが、その区間を90分で結ぶ2006年10月に開通した真新しい高架をくぐると、前方に七重のツインタワーを目にする。

蓮池潭 池と呼ぶには規模が大きく、湖と呼ぶに相応しい蓮池の畔を色鮮やか、建つ建物も雑多で変化に富み、統一感はない。この池の周りには屋台が建ち並び、蓮池で採れる蓮が名物で、その蓮を売る物売りが行きかう人々に声を掛け、突如として喧嘩の巷に飛び込んだ感覚に襲われる。

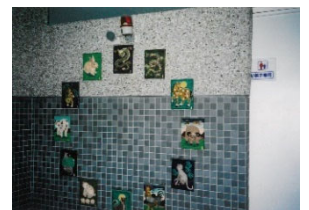


【写真1】 竜虎塔

立ち並ぶ塔の中でも一際飛び抜けて人気の高い竜虎塔【写真1】、龍と虎のペアーで構成されている。近づくに改装工事の足場でタワーが包まれ、入場不可能の掲示板が掛かっている。塔を動物の胎内に見立てて、龍の口から入って虎の口から出ると、人が現世で犯した悪行が消されるとの教えから人はこの口に飛び込む。龍の胎内には壁画が描かれ、親孝行の教えを説く「二十四孝子」、悪を犯した人が落ちる地獄、その地獄の入り口で受ける審判の光景を描いた「閻魔大王審判図」一変して虎の胎内には、天上の世界が描かれ、「十殿玉皇大帝三十六宮将図」「十二賢士」等天路歷程を経て現世に戻るとの勧善懲悪の教え、解説するガイドも仏教と道教の教えが、

これが台湾人の宗教であることを熱を帯び強調して解説する。池上には、厳めしい道教の神、北極玄天上帝像、金と赤のけばけばしい衣裳を身にまとい亀と蛇を左足で踏み押さえ、北極星を崇拝する道教の神、対の型式をとり池上に立つ立像は、うねる龍の背中の白衣の観音像背後に春秋二閣、これまた一対の二層の塔、閣には武の神関羽を祀る。この観音像を支える龍も胎内に入ることが出来、観音に纏わる仏画が壁に描かれている。人車が行き交う煩雑な道路を横断し、高級な楼閣の佇まい啓明堂、武の神関羽を祀る。来世、浄土への欣求よりも、現世利益、商売繁盛を尊ぶ台湾商人の宗教感溢れる、道教的色彩に彩られたお堂。内部空間の色彩も赤色と金色とに彩られて構成されている。小用するために公衆便所に入る

とトイレが貼られた壁の一面に、十二支の図【写真2】が貼られて、今年(2007年)の干支は猪であるが、台湾、韓国、中国等の国では、豚を猪の干支としている。元来猪を飼慣らして豚という家畜を育成したのであるから、同じ干支であることには変わりはない。道教的色彩の建築物の見学に違



【写真2】 十二支の図



【写真3】 寿山公園

和感を若干覚えたが、池上を見やると西に日が沈むその残光が、池上の建造物にその光りを投げかけ、人工の塔と、自然の光りの協調が昨今流行のライトアップの美よりも美しい。

寿山公園 高雄市の西端、小高い丘に寿山公園【写真3】はある。車はやや急な斜面を登り、丘の上に設けられた駐車場で我々を降ろす。更に石段を登りきり、石の鳥居をくぐる。この神社の鳥居は、かつて日本統治時代台湾神社が存在し当時の神社の鳥居、その名を忠烈祠と名は代わり、台湾政府が祖国防衛で殉じた人々の霊が本殿に安置されている。神社の敷地内、中央に本殿「浩氣千秋」と額に書かれ、諄いが梁、子供の色彩は鮮やか何処までも台湾風なのである。庭の一隅にたむろする人々は、大画面に映るDVDを見入りつつマイク片手に大声で、カラオケに興じている。その曲が聞

き慣れた歌謡曲だと思い画面を見ると、五木ひろしの映像、歌は「細雪」画面に中国語のスーパーインポーズが出ているが、中国語で歌ったり、歌う歌手の歌声に合わせて日本語で歌ったりして気分はご機嫌である。日は沈み夜の帳が下ろされた。この高台から夜の高雄市を眺望する。遠方に大きな円形の明るい彩色の電光を放つ雄大な観覧車、その背後に高雄港の波止場、停泊する船の灯りもちろちら見える。世界でも屈指の貿易港にあげられる高雄港、ガイドは熱を帯びて港の解説をするのも、台北にちかい基隆は日本に顔を向けている。日本統治時代には港として交易に重要な任になったが、対して高雄港は中国本土に顔を向けている。謂わば台湾の祖はあくまで中国である。血は争えない。その中国と近親憎悪の感情、政経分離の現実主義の考え方、台湾の現在の陳水扁政権の政権運営の行方と重なる、この高雄港に台湾本省人としての思いが抱かれていたのであらう。

六合路夜市 夕食は海鮮料理、食後夜市を彷徨する。屋台の並ぶ長さは街路両側500m、騒ぐほどの大きさではないが、市の入り口の屋台の並ぶ

ぶ後方に蛇料理の専門店のどぎつい看板に刺激されて、期待して屋台の店先を眺め歩くが、おとなしい。海鮮、鶏肉料理、装飾品、日用雑貨品等なんでもありの夜市、東南アジアの中でも一番日本の夜市に近い風景を見せた高雄の夜市である。 ※次号へ続く

桂 米左氏 東京公演に参加して

Fig6 馬江 治喜

四月二八日に桂 米左さんより五月四日にお江戸日本橋亭(東京都中央区日本橋本町三ー一六日本橋永谷ビル一階にて鈴々舎馬桜プロデュース「桂米左の云の公演がある」と言うご連絡を頂き、主な会員にメールで連絡しました。会員への連絡から開催日まであまり時間がなく、参加者はE三六卒石垣英明氏との二人で、例年十一月頃開催の桂 米左独演会が、浅草見番の前がお江戸日本橋亭であった事で、十年以上の時間がありました。久しぶりに参加しました。会場は浅草見番と違い折り畳み椅子で、老齢の私には腰の負担が少し楽でした。お題目は故桂米朝師匠の「はてなの茶碗」一「文笛」一「住古駕籠」の三題のお断しでした。久しぶりのお断しで、本当に楽しいひと時でした。

桂 米佐氏 東京公演のお知らせ

事務局より



桂 米佐氏

東京公演を二十二年連続開催していましたが、新型コロナの影響で二年途切れていましたが、今年は開催場所をへお江戸日本橋亭で左記の要項で三年ぶりに開催します。今までの浅草見番は畳席で腰が痛かったですが、お江戸日本橋亭は椅子席で、腰が楽だと思いますので多数のお申し込みをお待ちしています。

開催日時 .. 十月二日(日)

十三時三十分改演

開催場所 .. お江戸日本橋亭

(東京都中央区日本橋本町三ー一六)

日本橋永谷ビル一階

料金: 前売り2500円、当日3000円

お申し込み・問合せ 事務局 馬江まで

申込期限 .. 九月二十五日(日)十七時迄

Eメール .. har1942umae@iris.ocn.ne.jp

Mニュースの歴史と編集について

AS7 信原 利行

Mニュースは一九八九年(平成元年)六月に創刊され、今年で三十六年になります。当初はA一八年卒の岡田氏、A四七年卒の西口氏が編集担当し、私は二四号(平成一三年)より編集担当となり、A三七年卒の森氏と共に約二十年間編集に携わってきました。当初は白黒版でしたが、三十一号よりカラー版となりました。今号の六三号よりA四七年卒の西口と共にイラストレーターという少々専門的なソフトから一般的なMS-WORDというソフトに移植を行いました。これからはこのソフトでより多くの人が編集に携われるようになります。新型コロナの影響で発行が年一回となっており、但し、今後共にご愛読の程よろしくお願ひいたします。



M ニュース創刊号

計報

A20	藤田 勇喜男氏	2010 年
A29	森 正信氏	2021 年7 月 27 日
A32	外山 武史	2021 年2 月 1 日
E16	戸部 暢	2022 年2 月 21 日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



皆様からの原稿をお待ちしています。
事務局までお送りください。